

(2018年5月22日)

～ 人を豊かに、地球を美しく ～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

松田産業株式会社

第69期

2018年3月期 決算説明会



— お問い合わせ先 —

取締役IR部長 木下敦視

TEL: (03)5381-0728

FAX: (03)3349-0867

<http://www.matsuda-sangyo.co.jp/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。2018年3月期決算短信にもとづき、作成しております。

# 決算概要と事業展開について

## ■ 連結経営成績

2018.3月期の連結売上高は前期比+16.6%の増収、  
営業利益は同+64.8%の増益。

## ■ 貴金属関連事業

主力顧客であるエレクトロニクス業界の生産状況は、半導体・  
電子デバイス分野を中心に好調に推移しました。

【前期比】 売上: +17.9%増収、営業利益: +83.6%増益

## ■ 食品関連事業

加工食品の需要の高まりや海外展開の拡大などにより、食  
品業界の生産状況は緩やかな上昇傾向が見られました。

【前期比】 売上: +14.6%増収、営業利益: +33.1%増益

※比較数値は、全て前年同期比

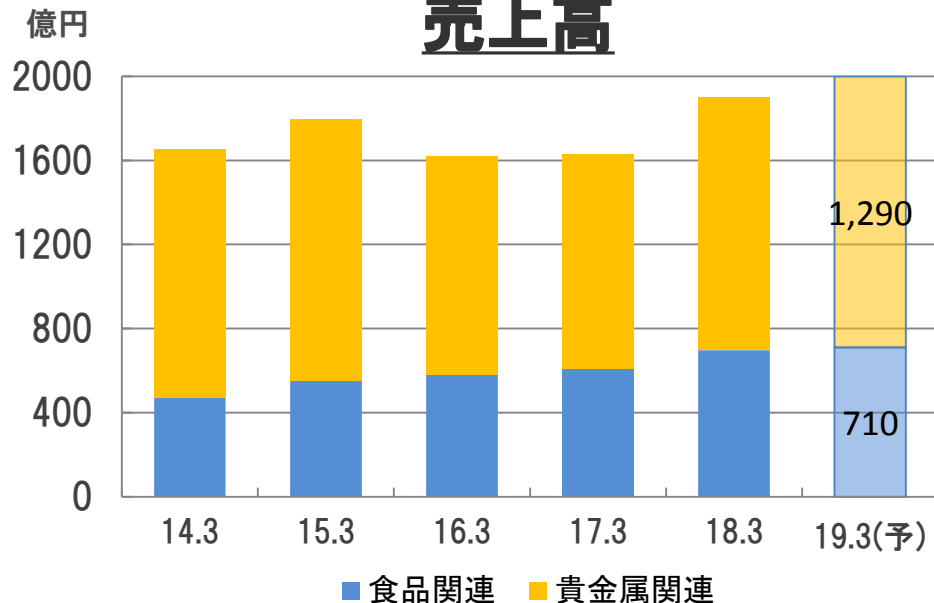
# 2018年3月期(連結) 決算概要

単位:百万円

	17.3期	18.3期	増減	%
貴金属	102,219	120,492	+18,273	+17.9%
食品	60,834	69,691	+8,856	+14.6%
<b>売上高</b>	<b>163,054</b>	<b>190,184</b>	<b>+27,129</b>	<b>+16.6%</b>
貴金属	1,856	3,407	+1,551	+83.6%
食品	1,104	1,470	+365	+33.1%
<b>営業利益</b>	<b>2,960</b>	<b>4,877</b>	<b>+1,917</b>	<b>+64.8%</b>
営業利益率	1.8%	2.6%	—	
<b>経常利益</b>	<b>3,459</b>	<b>5,142</b>	<b>+1,683</b>	<b>+48.7%</b>
経常利益率	2.1%	2.7%	—	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,454</b>	<b>3,459</b>	<b>+1,004</b>	<b>+40.9%</b>
当期純利益率	1.5%	1.8%	—	
<b>1株当たり当期純利益(円)</b>	<b>93.21</b>	<b>131.37</b>	<b>+38</b>	<b>+40.9%</b>
<b>1株当たり純資産(円)</b>	<b>2,027.45</b>	<b>2,149.11</b>	<b>+122</b>	<b>+6.0%</b>

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております

## 売上高



## 19.3期通期予想 (対 18.3期比)

**2,000億円 (+98億円 +5.2%)**

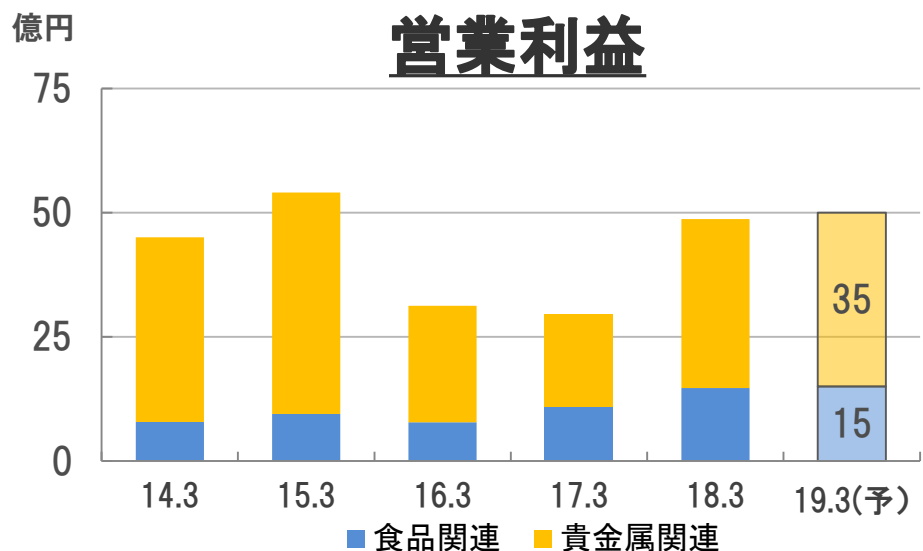
### ■ 貴金属関連事業

1,290億円 (+85億円 +7.1%)

### ■ 食品関連事業

710億円 (+13億円 +1.9%)

## 営業利益



**50億円 (+1.2億円 +2.5%)**

### ■ 貴金属関連事業

35億円 (+0.9億円 +2.7%)

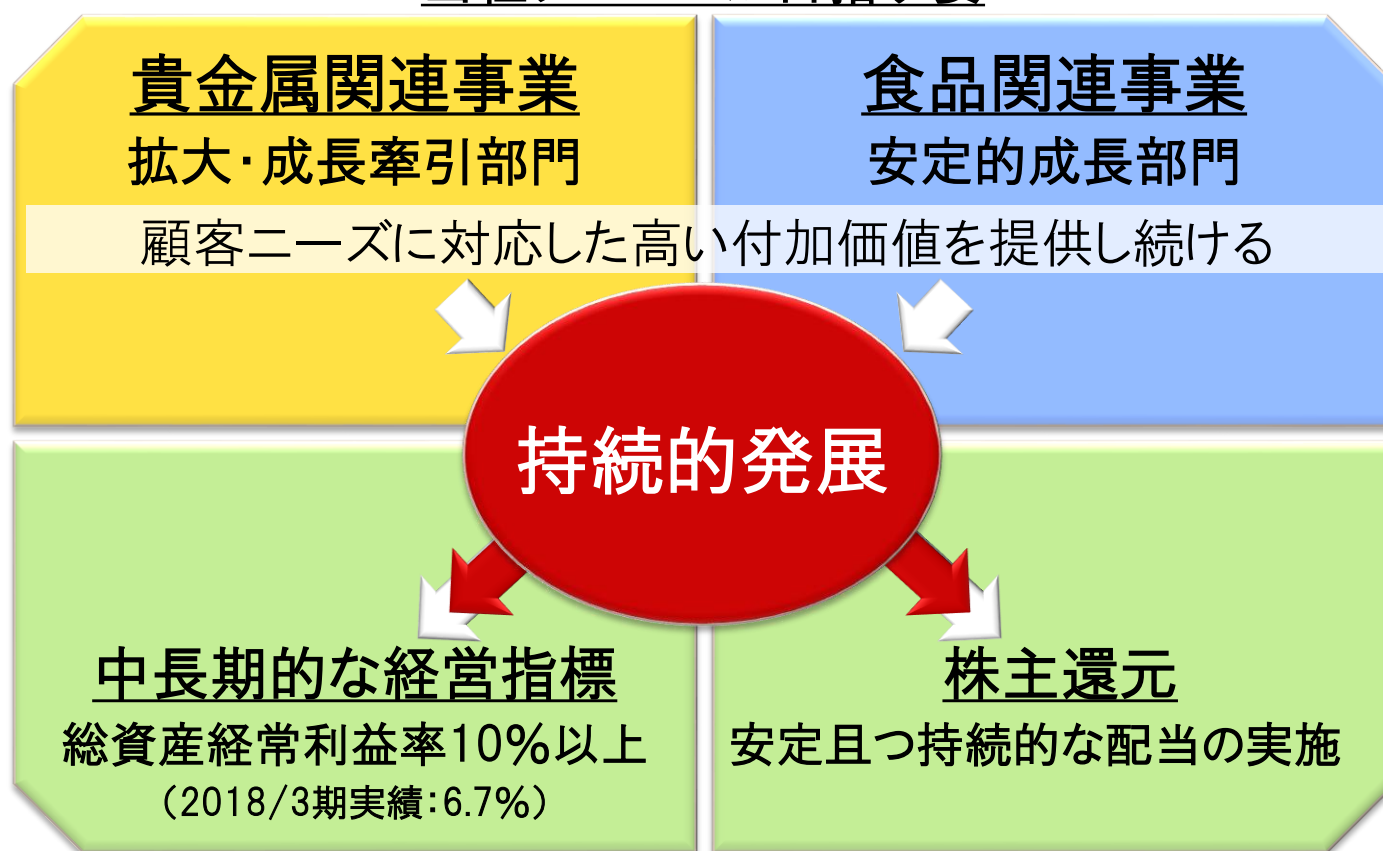
### ■ 食品関連事業

15億円 (+0.3億円 +2.0%)

企業理念

限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する

当社グループが目指す姿



## 中期経営計画の目標 (2019年3月期) 連結

売上高	2,000億円
営業利益	40億円
営業利益率	2.0%

2018年3月期において、営業利益では目標を達成しておりますが、継続的かつ安定的に目標数値を達成できるよう取り組んでまいります。

### 経営戦略

#### 貴金属関連事業

<拡大・成長牽引部門>

#### 食品関連事業

<安定的成長部門>

既存事業の  
収益極大化

新たな収益源の  
構築

東アジア地区での  
積極拡大

最適な管理体制の構築

人材育成・確保

### 投資方針

貴金属関連事業と食品関連事業の両分野において、製品・技術開発、国内外の拠点整備や機能拡充等、事業拡大に必要な成長投資を積極的に行います。

既存事業の収益極大化: 貴金属リサイクル及び環境保全に関するノウハウ・インフラの最大活用  
新たな収益源の構築: 高機能電子材料・洗浄・メンテナンス技術の開発強化等

 松田産業株式会社

分析 / 前処理 / 製錬 / 精製



販売



無害化中間処理



回収



加工/販売



回収

エレクトロニクス業界



貴金属スクラップ



廃酸・廃アルカリなど



東アジア地区での積極拡大:7カ国に海外拠点を設立し、回収販売ネットワークを強化



## 海外展開の軌跡

- 1992 シンガポール支店開設
- 2000 タイ現地法人設立
- 2003 タイ工場稼働
- 2004 フィリピン現地法人設立
- 2005 シンガポール現地法人化
- 2007 中国現地法人設立
- 2009 マレーシア現地法人設立
- 2011 台湾支店開設
- 2012 マレーシア工場稼働
- 2013 タイ・チョンブリ営業所開設
- 2014 ベトナム現地法人設立
- 2016 ベトナム工場稼働

## 既存事業の収益極大化

### 取扱商品

#### 水産品



#### 畜産品



#### 農産品



商品仕入

品質管理

技術指導



品質保証



食材流通

商品販売

品質保証

食材提案  
物流サービス

### お客様

練り製品  
メーカー

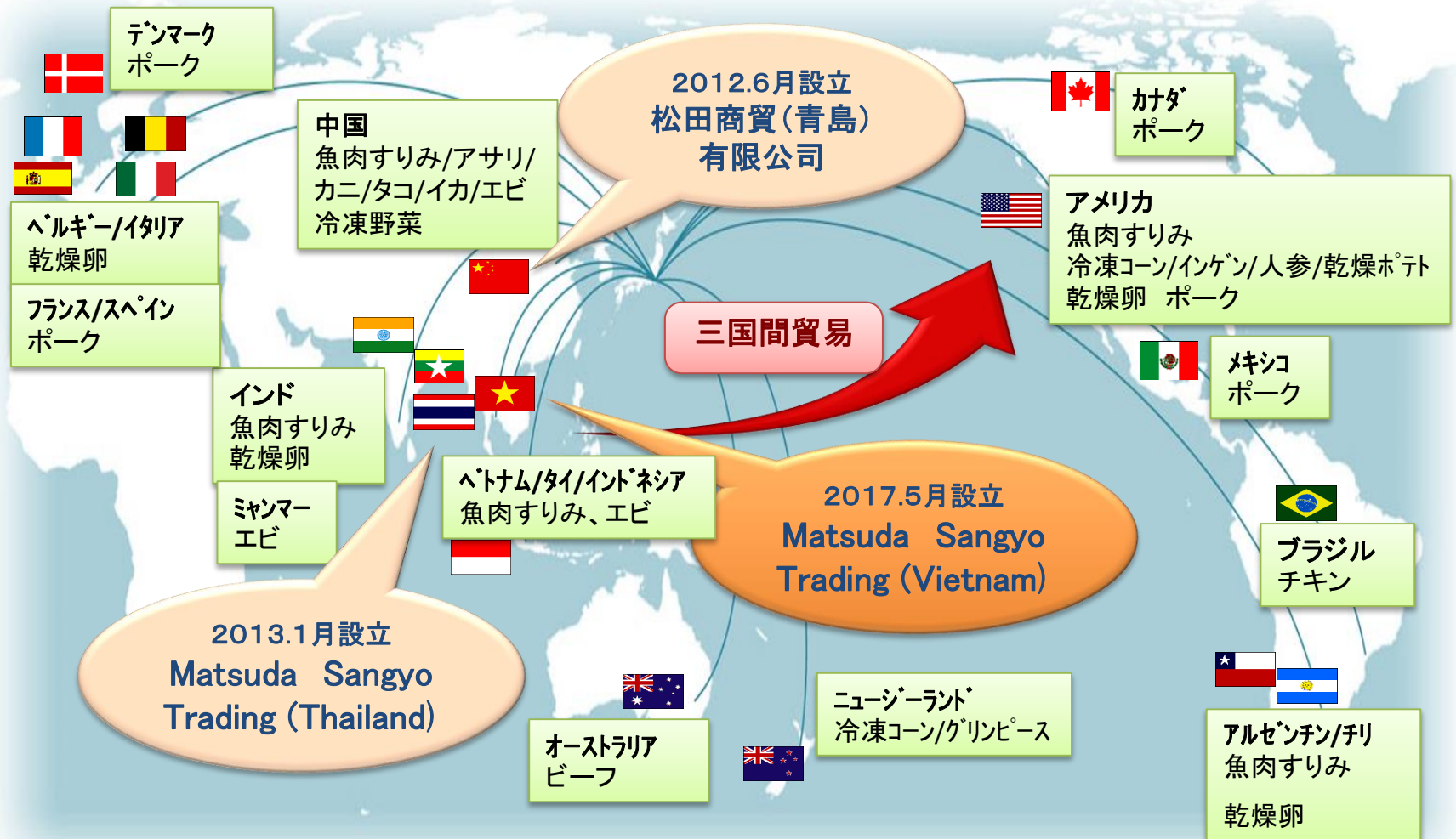
冷凍食品  
メーカー

ハム・  
ソーセージ  
メーカー

製菓・  
製パン  
メーカー

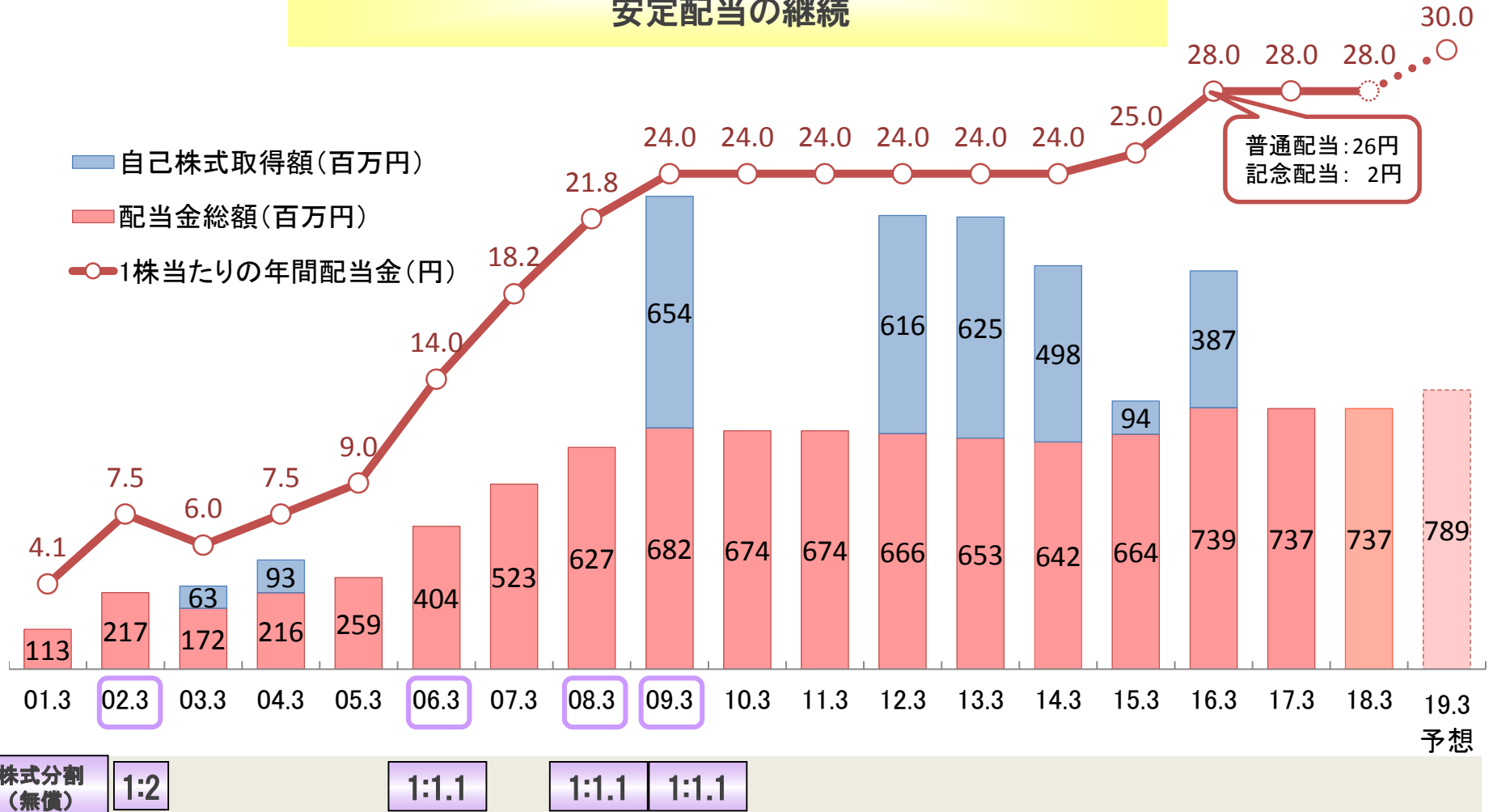
外食・中食  
業界

新たな収益源の構築:グローバルな調達ネットワークの拡大による商品ラインナップの拡充  
東アジア地区での積極拡大:中国・タイ・ベトナム現地法人を活用した海外販売市場の開拓



## 内部留保とのバランスを考慮した株主への利益還元

### 安定配当の継続



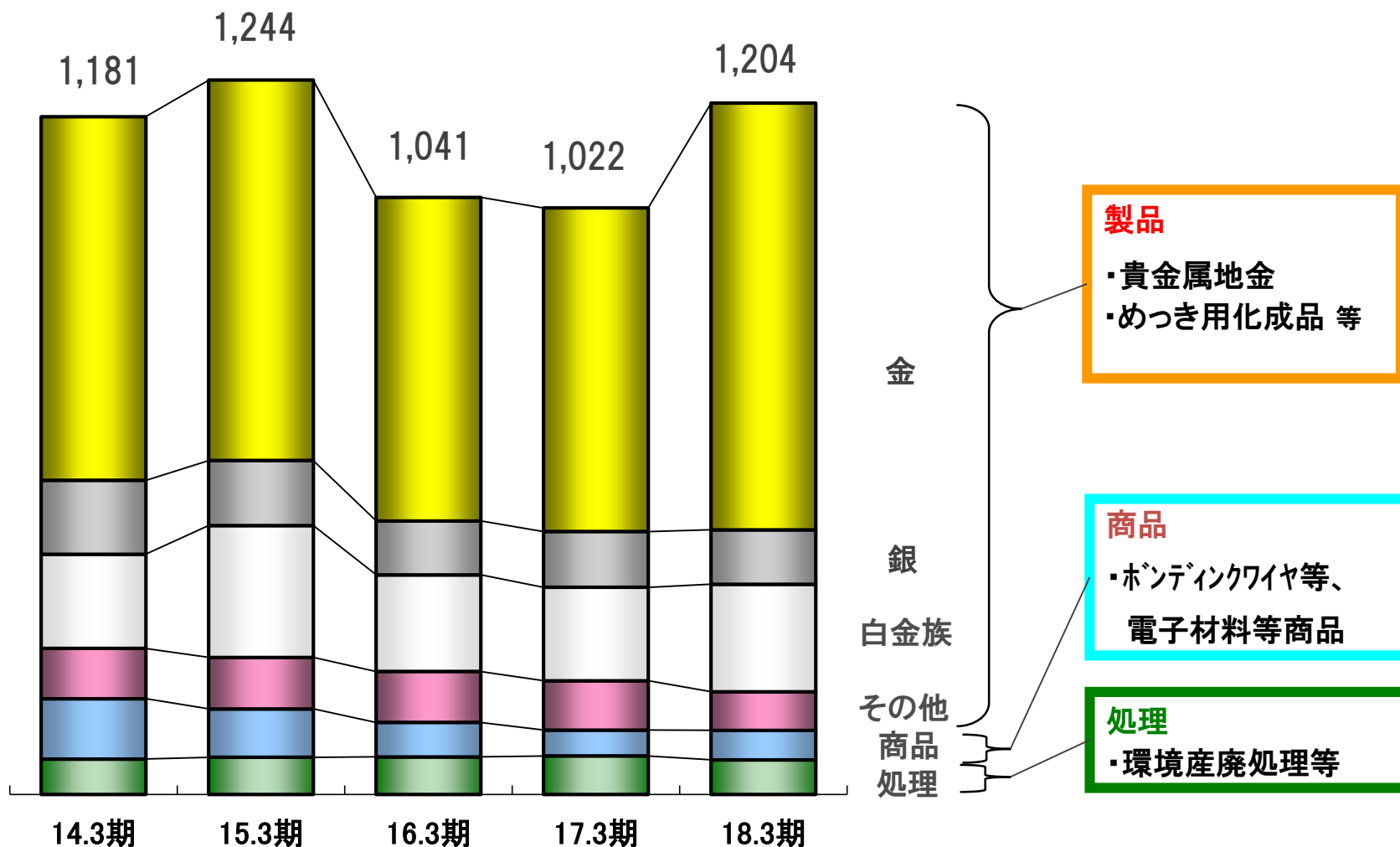
(注1)1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

(注2)10月31日現在の自己株式取得額は、2010年10月31日までの取得額を表示しています。

# 2018年3月期決算と 2019年3月期見通しについて

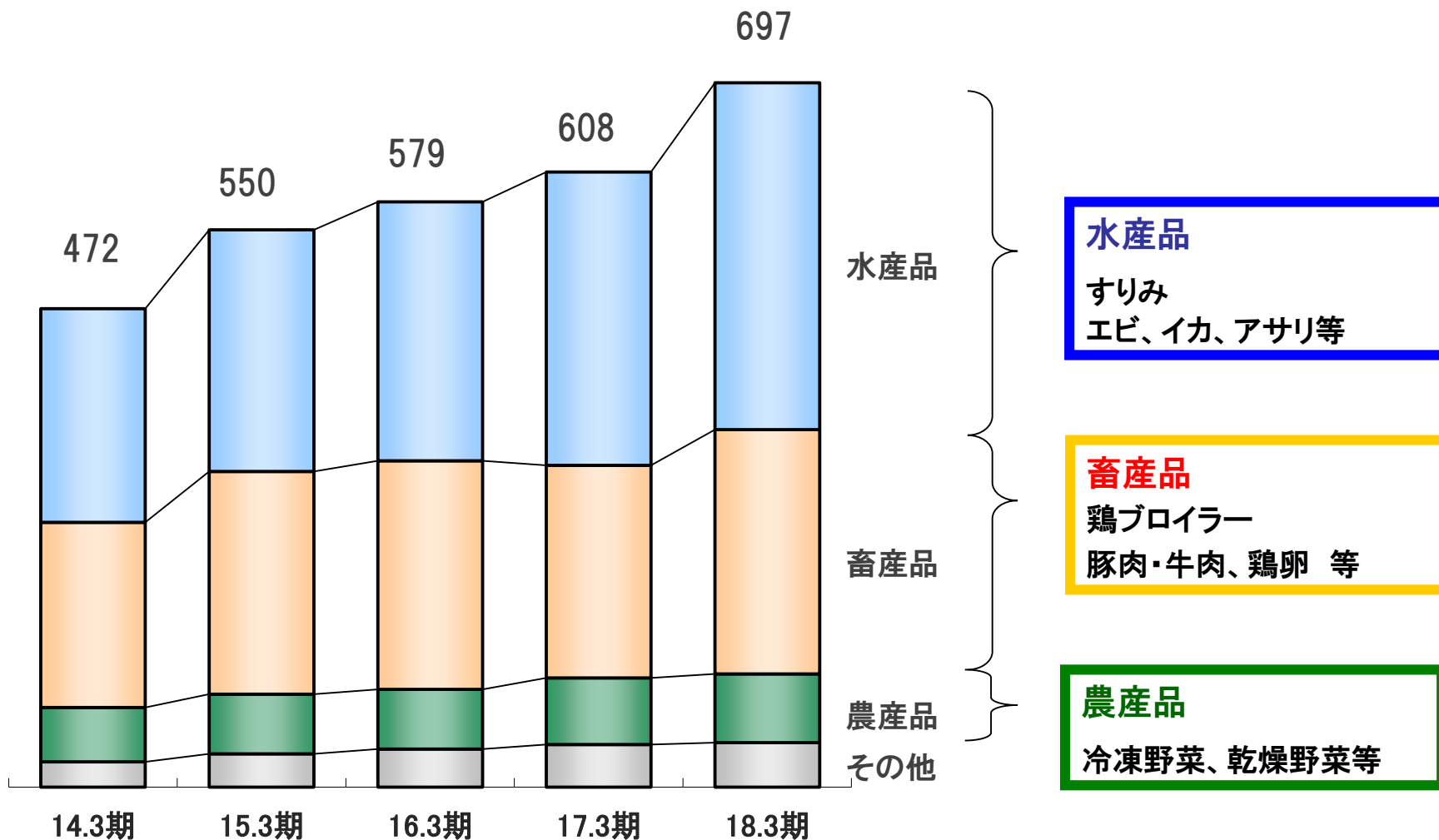
# 品目別売上高の半期別推移 < 貴金属関連事業 >

単位：億円



# 品目別売上高の半期別推移 <食品関連事業>

単位:億円



# 2019年3月期セグメント別業績見通し

## 連結業績 予想

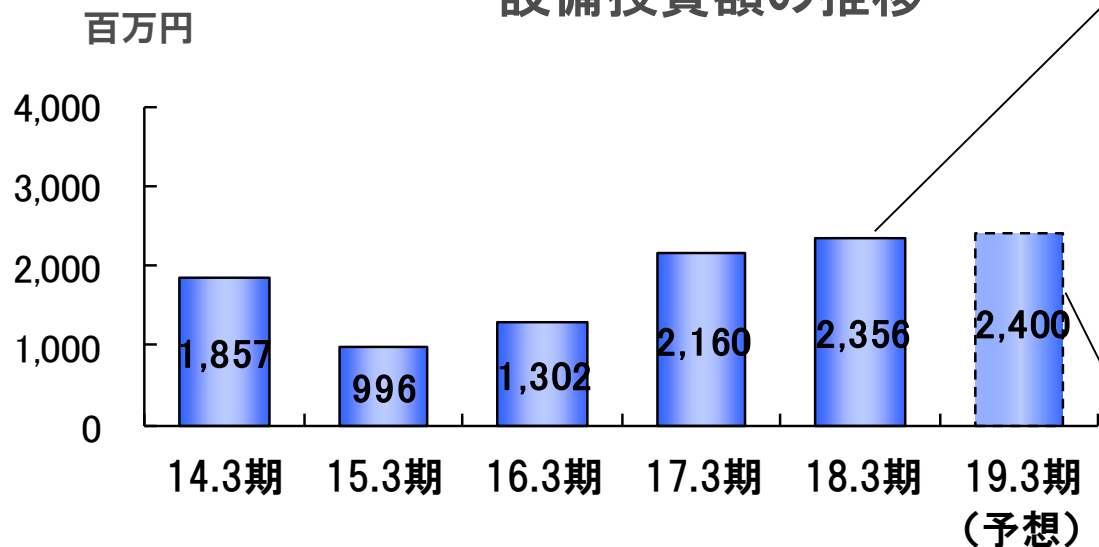
単位:百万円

		18.3期 実績			19.3期 予想			増減	%
		上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	貴金属関連	60,180	60,312	120,492	63,000	66,000	129,000	8,507	7.1%
	食品関連	34,101	35,590	69,691	33,000	38,000	71,000	1,309	1.9%
	合計	94,282	95,902	190,184	96,000	104,000	200,000	9,815	5.2%
営業利益	貴金属関連	1,390	2,017	3,407	1,700	1,800	3,500	93	2.7%
	食品関連	813	657	1,470	700	800	1,500	30	2.0%
	合計	2,203	2,674	4,877	2,400	2,600	5,000	122	2.5%
経常利益		2,422	2,720	5,142	2,500	2,700	5,200	57	1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益(円)		1,641	1,818	3,459	1,680	1,820	3,500	40	1.2%
1株当たり 当期純利益(円)		62.34	69.03	131.37	63.79	69.12	132.91	1.54	1.2%
1株当たり配当金(円)		14	14	28	15	15	30	2	7.1%

※増減は18.3通期実績 対 19.3通期予想(2018年5月11日発表の連結業績予想)です。



## 設備投資額の推移



### 主な設備投資実績

18.3期

関工場その他の土地取得 1,100

製錬環境処理設備・拠点拡充等 1,256

### 主な設備投資予定

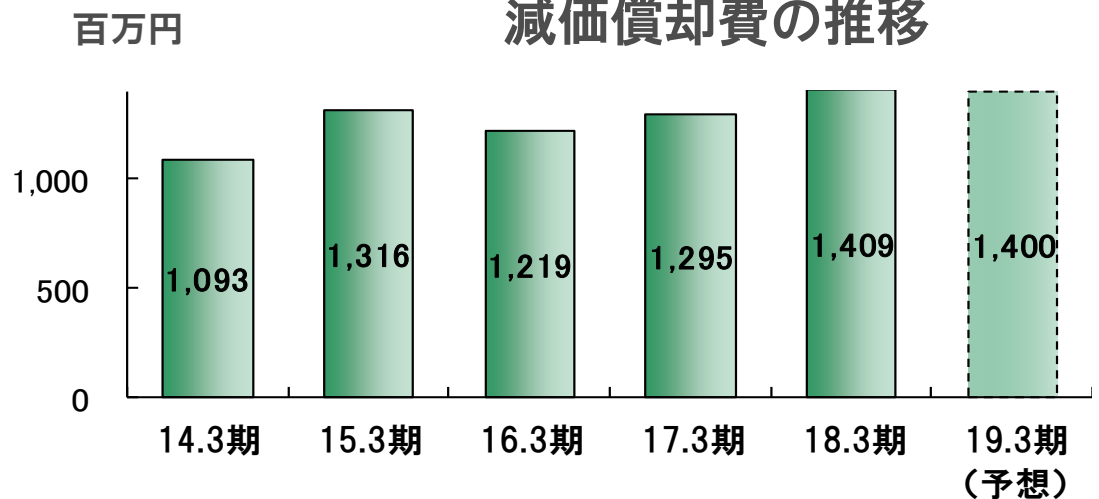
19.3期

関工場生産設備※ 600

製錬環境処理設備・拠点拡充等 1,800

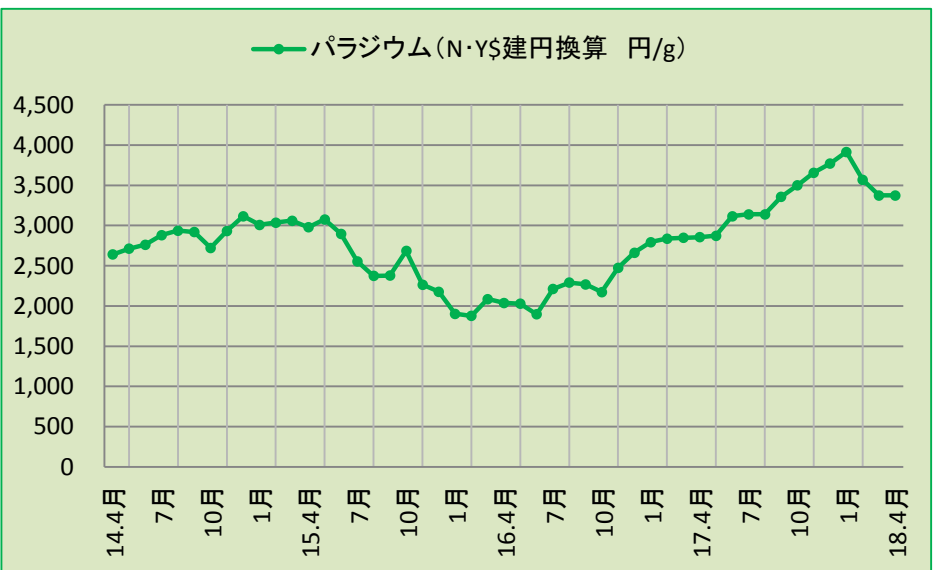
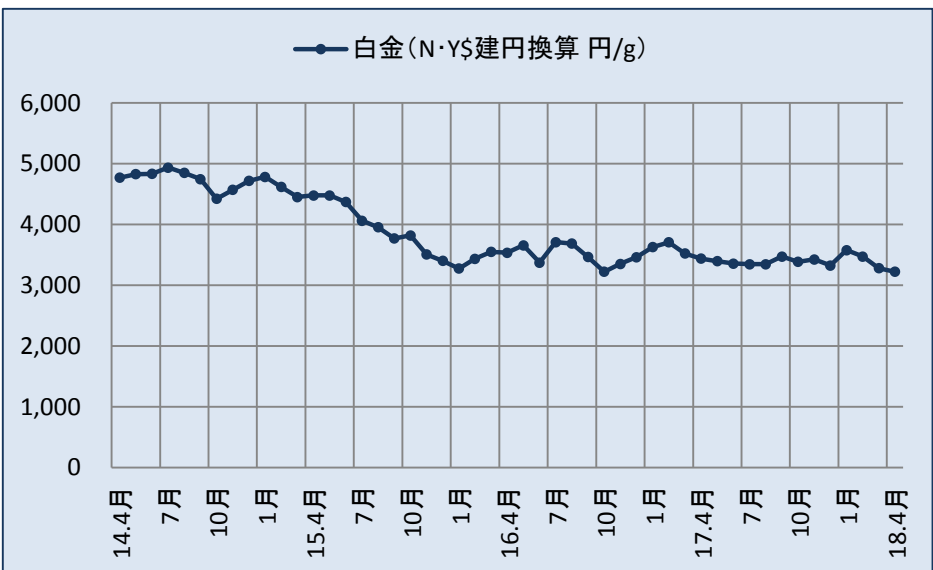
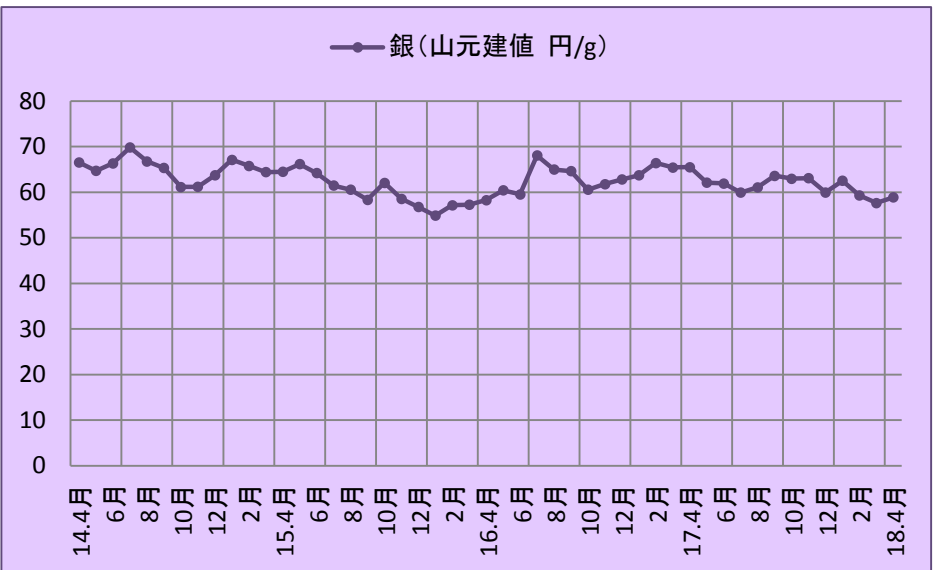
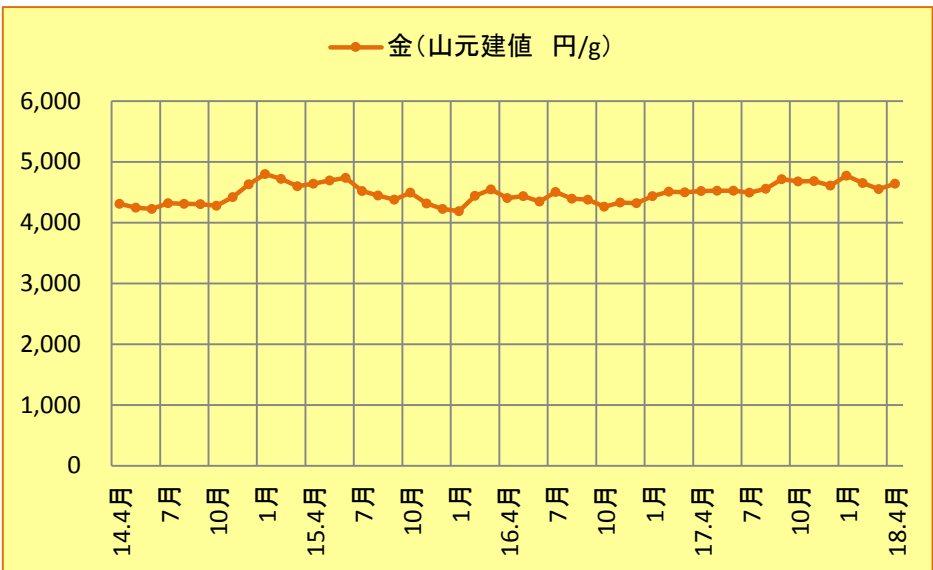
※本投資につきましては、20.3期下期までに  
総投資額として約36億円を見込んでおります。

## 減価償却費の推移

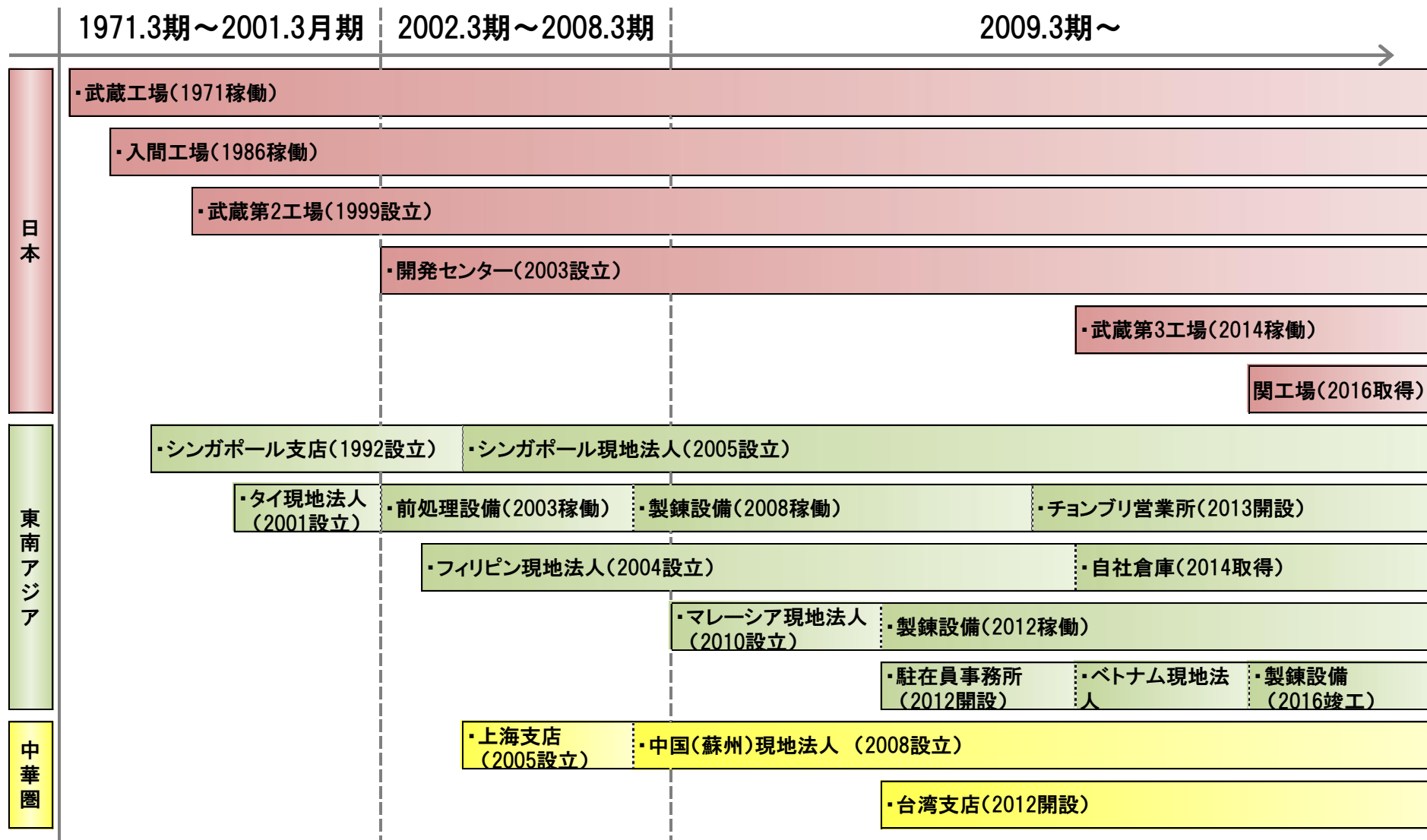


## ご参考

# (ご参考)貴金属相場の推移



# (ご参考)貴金属関連事業の拠点展開の軌跡



※年の表示は各イベントが属する決算期による(例:2012⇒2012年3月期)。1992年までは12月決算、1993年以降は3月決算。